

II 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ

基本施策	達成指標番号	達成指標	H20	H27実績	(H27)最終目標	進捗区分	担当所管	7年間を通じての考察等	
(3) 命を大切に する心や思いやりの 心をはぐくむ教育の 推進	18	「係活動等責任を持って行っている」と回答する小学5年生の割合	85%	91%	88%	◎	指導課	<p>[18・19]◎「『係活動等責任を持って行っている』と回答する児童生徒の割合」について</p> <p>平成23年度より小学5年より中学2年の肯定的回答率が高くなっている。本市では、小学校における移動教室や農山村留学、中学校における自然教室などを通して、生活の中で、一人一人の役割を自覚させ、責任を果たしたことに對してきちんと称揚し、自己有用感を持たせる指導がなされている効果であると考えられる。</p> <p>「22」△「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答する生徒の割合」について</p> <p>道徳教育の推進については、小学校30年度、中学校31年度から「特別の教科 道徳」として実施される。そのために道徳教育の充実が図られ、思いやりや奉仕の心が育まれたと考えられる。</p> <p>【参考】</p> <p>役に立つ人間になりたいと回答する中学生の割合は、平成27年度の全国平均が93.7%で、千葉市は全国平均を上回っている。小学生の割合は全国平均が93.7%に對して、千葉市は93.6%で、わずかに下回っている。(全国学力・学習状況調査)</p> <p>[26]◎「教育センターでのグループカウンセリング活動に参加した児童生徒のうち、学校復帰に向けた改善が図られ、教育相談指導教室に入級できた児童生徒の割合」について</p>	
	19	「係活動等責任を持って行っている」と回答する中学2年生の割合	83%	93%	90%	◎	指導課		
	20	職場体験学習を3日以上実施する中学校の割合	75%	82%	95%	△	指導課		
	21	職場体験学習を実施する中学校の割合【H23年度新規】	100% (H23)	100%	100%	◎	指導課		
	22	人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答する生徒の割合【H24年度新規】	中92.9% (H24)	中93.8%	95%	△	指導課		
	(再掲)	千葉市独自の情報モラル教育カリキュラムを実践した学校の割合	(17の再掲)						
	23	環境の保全、生命の尊び、自然の大切さ等について、学校独自の内容で、学習を実施している学校数【H23年度新規】	100% (H23)	100%	100%	◎	指導課		
	24	全児童生徒数に対する不登校小学校児童数の割合	0.22%	0.49%	0.20%	×	指導課		
	25	〃 不登校中学校生徒数の割合	2.73%	2.49%	2.50%	◎	指導課		
26	教育センターでのグループカウンセリング活動に参加した児童生徒のうち、学校復帰に向けた改善が図られ、教育相談指導教室に入級できた児童生徒の割合	32%	65%	50%	◎	教育センター			
(4) 夢や希望をはぐくむ 教育の推進	(再掲)	職場体験学習を3日以上実施する中学校の割合	(20の再掲)						
	27	高等学校卒業時の進路決定状況	76%	85%	83%	◎	企画課	<p>この7年間は、常に学校との連携強化を課題として掲げ、各種研修会で繰り返し啓発を行ってきた。平成27年度より中学校グループ活動入級に当たって、学校からの入級要請書を提出する形に変更した。それに伴い、担任と担当指導主事の情報交換も密に行うようになった。また、指導員のうち1名を非常勤嘱託化したことにより指導力の向上が図れたことで目標値を達成したと考えられる。</p> <p>[27]◎「高等学校卒業時の進路決定状況」について</p> <p>市立高校では、自学自習の習慣を身に付けさせ、生徒自身が進路決定への取組を自己管理でできるような指導を徹底したこととあわせ、授業改善により指導と評価の一体化が図られ、SSH、中高一貫教育等の特徴的な教育が展開されている。また、これらの取組が近年改革が進む大学入試改革の方向性と合致しているため、良好な進路決定状況となっていると考えられる。</p>	
	28	埋蔵文化財調査センターの出前授業を利用する児童・生徒数(延べ数)	2,040人	7,844人	7,400人	◎	文化財課		
	29	「英語の勉強が好き」と肯定的に回答する中学2年生の割合	61%	68%	70%	△	指導課		
	30	「英語活動が楽しい」と肯定的に回答する児童の割合(小学5年生)	81%	94%	98%	△	指導課		
	31	市立稲毛高等学校・附属中学校における高校2年時の実用英語技能検定(英検)2級の合格率【H23年度新規】	56% (H23)	54.1%	100%	×	市立稲毛高		
	32	海外の学校との交流活動を実施している学校数	17校	19校	30校	△	指導課		
(5) 豊かな情操をはぐくむ 教育の推進	(再掲)	小学生一人あたり2週間の平均読書冊数	(4の再掲)						
	(再掲)	中学生一人あたり 〃	(5の再掲)						
	(再掲)	一週間にどのくらい読書をするかに對して「読まない」と回答する小学5年生の割合	(6の再掲)						
	(再掲)	〃 中学2年生の割合	(7の再掲)						
	33	団体貸出用資料の貸出冊数(学校専用貸出及び団体用貸出の計)	16,000冊	26,159冊	24,000冊	◎	中央図書館	<p>[28]◎「埋蔵文化財調査センターの出前授業を利用する児童・生徒数(延べ数)」について</p> <p>1回の学校訪問で複数の出前授業のメニューを行うようになったことや、放課後ことも教室からの依頼数の増加などによる。</p> <p>(33)◎「団体貸出用資料の貸出冊数(学校専用貸出及び団体用貸出の計)」について</p> <p>学校での調べ学習等に必要な資料の充実と、授業で活用できる『セット貸出』資料の整備を進めた。平成27年度は、学校の教員や学校図書館指導員への研修会に積極的に出席するなどし、団体貸出のPRを行った。また、各学校へのアンケート調査を踏まえ、教科書に沿った図書資料や自然科学に関するセット貸出用資料の充実を図ったため貸出冊数が伸びたと考えられる。</p>	
	34	子ども読書まつりの参加人数	3,800人	10,620人	11,000人	○	中央図書館		
	35	オーケストラコンサート参加人数	4,231人	3,058人	4,900人	×	指導課		